

平成30年度生理学研究所研究会

「記憶・学習の基盤機構と回路研究の新展開へのアプローチ」

2018年9月19日(水) 13:30 ~ 9月20日(木) 12:00
生理学研究所(明大寺地区) 1階大会議室
代表者: 大川 宜昭(富山大学 大学院医学薬学研究部)
所内世話人: 鍋倉淳一(生体恒常性発達研究部門)

9月19日(水)

13:00-13:30 受付

13:30-13:40 開会のあいさつ

オーガナイザー 奥野 浩行 (鹿児島大): 記憶の変遷・その分子機構へ

13:40-14:05 mRNA 輸送制御因子 RNG105/caprin1 による長期記憶形成メカニズム
椎名 伸之 (基生研)

14:05-14:30 神経シナプスにおけるエピトランスクリプトームの内容と機能
王 丹 (京大・iCeMS)

14:30-14:55 恐怖記憶想起後の記憶フェーズ移行のメカニズム
福島 穂高 (東京農大)

14:55-15:20 皮質領域における遠隔記憶の細胞・分子機構
金 亮 (東大)

15:20-15:40 ブレーク

オーガナイザー 佐藤 正晃 (埼玉大): 記憶プロセスのリアルタイム観察

15:40-16:05 仮想空間内における課題遂行中ゼブラフィッシュ終脳神経活動イメージングにより明らかになった意思決定機構
鳥越 万紀夫 (理研 CBS)

16:05-16:30 海馬における記憶情報表現: 安定性と不安定性のあいだ
佐藤 正晃 (埼玉大)

16:30-16:55 海馬記憶エンGRAMからの記憶解説
ー海馬記憶エンGRAMは経験の脳内表象へのインデックスであるー
田中 和正 (理研 CBS)

16:55-17:20 大脳皮質神経細胞集団による恐怖記憶の情報処理機構
揚妻 正和 (生理研)

17:20-17:40 ブレーク

特別講演：エピソード記憶を司る神経回路

17:40-18:20 北村 貴司 (UT Southwestern)

18:30~ ポスターセッション 兼 情報交換会

9月20日(木)

オーガナイザー 林 悠 (筑波大・IIS)：睡眠関連回路の記憶への関与

9:00-9:25 恐怖記憶の形成および表出におけるオレキシンの役割
征矢 晋吾 (筑波大・IIS)

9:25-9:50 レム睡眠の操作が可能なマウスを用いた睡眠の質が記憶や情動に及ぼす影響の
解明
林 悠 (筑波大・IIS)

9:50-10:15 内側中核アセチルコリン作動性神経による睡眠と記憶の制御
山中 章弘 (名大)

9:50-10:15 ブレーク

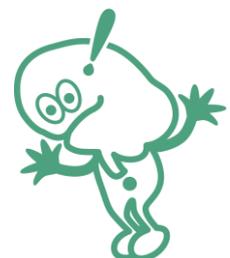
オーガナイザー 野村 洋 (北大)：新たな介入法による学習・記憶の理解

10:35-11:00 学習過程における「意欲」の変動メカニズムの解明
牧野 健一 (東大)

11:00-11:25 Posterior parietal cortex による記憶連合制御
鈴木 章円 (富山大)

11:25-11:50 ヒスタミン神経系の操作による記憶の回復
野村 洋 (北大)

11:50-12:00 閉会のあいさつ



ポスターセッション

No	タイトル・氏名 (所属)
01	Calcium imaging of hippocampal CA1 neurons during contextual fear conditioning in freely behaving mice 小林 暁吾(大阪大学大学院 医学系研究科 分子行動神経科学講座)
02	味覚嫌悪学習における脳領域間相互作用 阿部 こなみ(東京理科大学 理工学研究科 応用生物科学科専攻 古市研究室)
03	Synchronous activation of distinct memory ensembles in CA3 integrate two memories 大石 直哉(富山大学大学院 医学薬学研究部 生化学講座)
04	海馬における分泌関連因子 CAPS1 の機能解析と記憶・学習への寄与 石井 千晶(東京理科大学大学院 理工学研究科 応用生物科学専攻 古市研究室)
05	Functional analysis of the intercortical communication by multi-point optogenetical manipulation toward elucidation of the cortical internal model formed by a novel motor - visual associational maneuver task. 小林 琢磨(理化学研究所 脳神経科学研究センター 意思決定回路動態研究チーム)
06	Acetylcholine mediated synaptic plasticity at glutamatergic synapse in the interpeduncular nucleus induced by fighting behavior. 木下 雅恵(理化学研究所 神経科学研究センター 意思決定回路動態研究チーム)
07	アストロサイト由来の MHC classI が記憶・学習に及ぼす影響 伊藤 教道(名古屋大学医学部附属病院 薬剤部)
08	cPcdhs-deletion affects neural activity in the hippocampus 浅井 裕貴(富山大学 医学薬学研究部 生化学講座)
09	Integrating Neuronal Assemblies Constitute and Replay a Hippocampal Engram Ghandour Khaled(University of Toyama Innovative life sciences Biochemisrty, Inokuchi laboratory)
10	Overlapping memory engrams are stored in specific synapses Abdou Kareem(University of Toyama Department of Biochemistry Inokuchi lab)
11	自由行動下マウス海馬における恐怖記憶ニューロンと消去ニューロン集団のリアルタイム Ca²⁺イメージング 芹田 龍郎(東京農業大学 バイオサイエンス学科 動物分子生物学研究室)
12	恐怖記憶再固定化・消去を制御するニューロン集団の同定 石川 理絵(東京農業大学 生命科学部バイオサイエンス学科 動物分子生物学研究室)
13	神経シナプスにおけるエピトランスクリプトームの内容と機能 王 丹(京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 王丹グループ)
14	Arf GEFs, GAPs mRNA の樹状突起への局在化とスパイン形成への関与 大橋 りえ(基礎生物学研究所 神経細胞生物学研究室)
15	視床下部 MCH 神経による睡眠中の負の記憶制御 伊澤 俊太郎(名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野 2)
16	Role of clustered protocadherin gamma for the specific synaptic connections between excitatory and parvalbumin-positive inhibitory neuron in the mouse visual cortex 河村 菜々実(大阪大学 生命機能研究科 八木研究室)